

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公表番号】特表2006-523059(P2006-523059A)

【公表日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-039

【出願番号】特願2006-506442(P2006-506442)

【国際特許分類】

H 04 B 1/30 (2006.01)

H 04 L 27/00 (2006.01)

【F I】

H 04 B 1/30

H 04 L 27/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月12日(2007.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

未補正復調信号を生成するように、受信した信号を復調する手段と、  
補正信号用の出力を有する直流オフセット電圧補正回路と、  
前記出力に結合されたデータ再生回路とを備え、  
前記直流オフセット電圧補正回路が、  
前記未補正復調信号用の入力と、  
受信したデータを検出するためのビットスライサと、  
ノイズ及び直流オフセットを差し引いた前記復調信号を再生成するためのフィルタリング手段と、  
直流オフセット電圧を生成するように、前記未補正復調信号から前記再生成復調信号を  
差し引く減算手段と、  
前記直流オフセット電圧を前記ビットスライサにフィードバックするためのフィードバック回路とを備える受信機。

【請求項2】

前記フィルタリング手段が、少なくとも全受信チェーンの伝達関数と実質的に同一の特性を有するローパスフィルタであることを特徴とする請求項1に記載の受信機。

【請求項3】

前記未補正復調信号を少なくとも、前記フィルタリング手段を介した信号の伝送による時間遅延の持続時間だけ遅延させる遅延手段を備えることを特徴とする請求項2に記載の受信機。

【請求項4】

前記フィードバック回路が、ローパスフィルタを含むことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の受信機。

【請求項5】

前記フィードバック回路が、推定ドリフト速度によって制御される可変帯域幅フィルタを含むことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の受信機。

【請求項6】

前記未補正復調信号用の第1入力と、  
前記直流オフセット電圧用の第2入力と、  
前記ビットスライサと前記データ再生回路とに結合された出力とを有する、もう1つの  
減算段を備えることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の受信機。

【請求項7】

復調信号中の直流オフセット電圧の補正の方法であつて、  
前記復調信号の直流フリー推定値を得る段階と、  
直流オフセット電圧を得るために、前記復調信号の実質的に同時的なバージョンから前  
記復調信号の前記直流フリー推定値を差し引く段階と、  
前記復調信号から前記直流オフセット電圧を差し引く段階とを備える方法。

【請求項8】

前記復調信号の推定値を提供するために、前記復調信号から前記オフセット電圧を差し  
引くことによって形成される差分信号をビットスライスする段階と、  
前記復調信号の直流フリー推定値を得るために、前記復調信号の前記推定値を濾波する  
段階とを備えることを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記オフセット電圧を濾波する段階を備えることを特徴とする請求項7又は8に記載の  
方法。

【請求項10】

前記復調信号の前記直流フリー推定値を差し引く前に前記復調信号を遅延させる段階を  
備えることを特徴とする請求項7又は8に記載の方法。